

DERWENT-ACC- 1986-194639
NO:

DERWENT-WEEK: 198630

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Clothes washing appts. - using steam ejector provided on upper cover of
washing tub

PATENT-ASSIGNEE: SANYO ELECTRIC CO[SAOL]

PRIORITY-DATA: 1984JP-0249314 (November 26, 1984)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 61128995 A	June 17, 1986	N/A	003	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 61128995A	N/A	1984JP-0249314	November 26, 1984

INT-CL (IPC): D06F007/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 61128995A

BASIC-ABSTRACT:

A detachable steam ejector is provided on the upper cover of a washing tub contg. rotary blades. A flexible steam supply pipe is connected to the ejector, and connected by a base pipe to steam generator containing an electric heater.

USE/ADVANTAGE - Soiled cloth can be cleaned effectively without spoiling.

CHOSEN-DRAWING: Dwg. 0/3

TITLE-TERMS: CLOTHING WASHING APPARATUS STEAM EJECT UPPER COVER WASHING TUB

DERWENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J01;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1986-083961

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-128995

⑬ Int.Cl.⁴

D 06 F 7/00

識別記号

庁内整理番号

7038-4L

⑭ 公開 昭和61年(1986)6月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 洗濯機

⑯ 特 願 昭59-249314

⑰ 出 願 昭59(1984)11月26日

⑱ 発 明 者 山 川 喜 一 郎 守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

⑲ 出 願 人 三洋電機株式会社 守口市京阪本通2丁目18番地

⑳ 代 理 人 弁理士 佐野 静夫

明 細 書

1. 発明の名称 洗濯機

2. 特許請求の範囲

(1) 回転翼を内設した洗濯槽の上蓋に、スチーム噴出器を着脱自在に取付けたことを特徴とする洗濯機。

3. 発明の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

本発明は、通常の洗いと部分洗いを可能にした洗濯機に関する。

(ロ) 従来技術

水不溶性の汚れを通常の洗濯で落とそうとすると、時間ばかり喰う割りには効果が上らない。一方、汚れを効果的に落とす一つの手法として蒸気を吹きつけることが、特開昭52-146973号公報で知られている。折る手法を用いて水不溶性の汚れを落とす場合、蒸気が衣類全体に吹きつけられるので、全体としての汚れ落ち効果は上がるが、その汚れが局部的である時にはその衣類を必要でもないのに洗濯してしまふことになる。特に、洗

濯をあまりしない方がよいような物の場合、折る従来例は採用しにくかった。

(ハ) 発明が解決しようとする問題点

本発明は、部分的な汚れを極めて効果的に且つ簡単に落とすことができるようにするものである。

(ニ) 問題点を解決するための手段

本発明は、洗濯槽の上蓋にスチーム噴出器を着脱自在に取付けることにより、問題点を解決するものである。

(ホ) 作用

即ち、スチーム噴出器を自在に設定し、或いは動かして衣類の種部の汚れにスチームを吹きつけ、また必要によっては洗剤を塗布してから吹きつけ、その汚れを落とす。更に、上蓋に付けたままスチームを槽内に吹きつけ、通常の洗濯時に洗濯水の温度を上げて洗浄効果を高めることができる。

(ヘ) 実施例

以下、図面に基づいて説明すると、(1)は機枠(2)内に洗濯槽(3)を配設した洗濯機で、上部後方にはコントロールボックス(4)を設けている。この洗

濯機(1)は機枠(2)内に独立した脱水槽を配しても良く、また、洗濯槽(3)を洗濯兼脱水槽としてその外周に外槽を別途設けても良い。

(6)は洗濯槽(3)の内底部に配設された回転翼である。(8)は洗濯槽(3)の上蓋、(7)は同じく中蓋で、天々の蓋は基端で軸支してある。

(8)は上蓋(8)の裏面に弾性部材(9)…を介して取付けられた支持板で、^{或いは上下}両側に支持片(10)を設けている。(11)は支持板(8)に沿って移動して支持片(10)によって抜き出し自在に抱持されたスチーム噴出器で、下面に多数のスチーム放出孔…を穿設し、この放出孔群を中蓋(7)の上面に近接対向させている。(13)はスチーム噴出器(11)に連通するスチーム供給管で、蛇腹により可撓性を有しており、基管(14)を介して機枠(2)内のスチーム発生器(12)に連通している。このスチーム発生器(12)は、コントロールボックス(4)の給水口(16)からホース(17)を介して給水され、これを電気ヒータ(18)によって加熱してスチームを発生するものである。(19)は給水口(16)の閉鎖用キャップである。

ても良い。この場合の作業時間は当然短縮されるので布いたみは軽減される。

尚、スチーム噴出器(11)を外して手で持ち、放出孔…に布を当ててやれば、色々な箇所を拭き洗いをすることができる。

(h) 発明の効果

本発明に依れば、部分的な汚れを極めて効果的に且つ簡単に落すことができ、しかも布いたみも少ないものであり、使用々途の広い実用的な洗濯機を提供できるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による洗濯機の側断面図、第2図は開蓋時の斜視図、第3図は要部の分解斜視図である。

(3)…洗濯槽、(6)…回転翼、(11)…スチーム噴出器。

出願人 三洋電機株式会社
代理人 弁理士 佐野 静夫

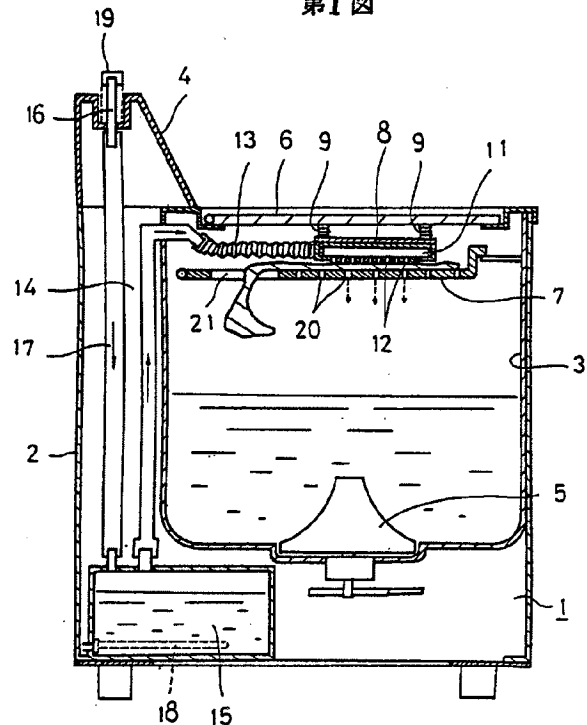
ここで、上記中蓋(7)は、スチーム放出孔(11)…との対向面に透孔…を穿設すると共に、基端側(軸支端側)には大型の逃げ口(12)を設けている。

次に洗濯動作について説明すると、まず、通常の洗濯は洗濯槽(3)内に所定位まで給水し、回転翼(6)を適当な反転サイクルで駆動するものである。

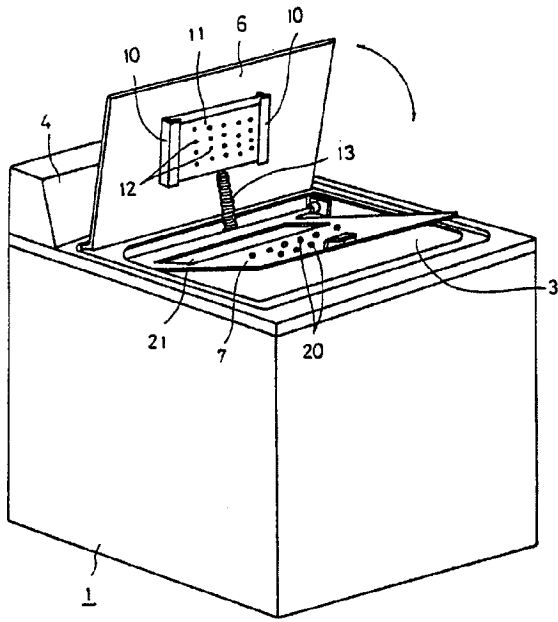
一方、極部的な汚れを落としたり、全体のシミ等を落してしまう場合は中蓋(7)上に衣類を乗せ、余分なところは逃げ口(12)に落し、上蓋(8)を閉成する。すると、スチーム噴出器(11)が衣類に弾性的に圧接し、ここでスチームを放出孔(11)…から衣類に吹きつける。尚、必要により衣類には洗剤を塗布しておく。従って、部分的な汚れやシミ等はスチームの放出により除去され透孔…から抜け落ちる。厚手の衣類やその他の衣類で蓋間に挟めないものは、中蓋(7)に乗せ、上蓋(8)からスチーム噴出器(11)を外して手で持ち、そしてスチームを必要部分に吹きつけていく。

そして、スチームを吹きつけた後の衣類は、必要により洗濯槽(3)内で通常の洗い、すすぎにかけ

第1図



第2図



第3図

